

森林塾青水

第20回 定期総会

1. 日時 2021年4月17日(土曜日)
13時15分 ~ 14時30分
2. 場所 勝どき区民館(東京都中央区)
3. 議題 第1号議案 2020度事業報告及び会計収支
第2号議案 2021年度事業計画及び会計収支予算案
第3号議案 2021年度役員選任



2021年4月17日
森林塾青水

1. 2020年度事業報告

森林塾青水の立ち位置

○ 着実な活動の継続により大きな成果

2000年9月発足、2003年4月上ノ原での本格活動開始、その間、地元住民、近郊都市や首都圏の住民、行政の協力のもと、絶えることなく活動、着実に成果を上げてきた。これまでの茅の出荷総数はここ10年だけでも3万束を越しており、およそ10軒分の屋根材を供給することができた。

○ 森林塾青水ならびに我々のフィールド、上ノ原の、ステータスが向上

日本自然保護協会「沼田賞」受賞(2011年)、みなかみ町昆虫等保護条例対象への指定(2011年)、環境省「生物多様性保全のため重要な里地里山」選定(2015年)、文化庁「ふるさと文化財の森」への設定(2019年)など、また、付近一帯のユネスコのエコパーク(生物圏保存地域)への指定(2017年)、みなかみ町のSDGs(持続可能な開発目標)未来都市への選定(2019年)、ユネスコ無形文化遺産に17種類(茅の採取)の「伝統建築工匠の技」認定(2020年)

○ 担い手の継続的な確保が今後の持続のための課題

里山の過疎化、地元担い手・首都圏会員の高齢化という、構造的な問題を抱えている。一方、現地藤原では、NPO法人奥利根水源地域ネットワークはじめとする諸団体を中心に、若手の移住促進、教育旅行の受け入れ、自伐型林業の推進など、地域活性化の動きが一步一步進められ希望の光がさしており、これらと協働、現地ニーズに歩調を合わせた活動が期待できると思われる。

2020年度の総括

新型コロナウイルスの影響で、計画された活動がほとんどできなかったが、オンラインでの幹事会やメールによる在宅講座など新しい取り組みにも挑戦できた。ユネスコ無形文化遺産に認定された17種類の「伝統建築工匠の技」の一つに「茅の採取」が取り入れられたことは、非常に大きな後ろ盾となった。また、新たに若い会員数名に入会してもらえたり、群馬県内の参加者も少しずつ増えてきており、3月には、感染症対策で県外からの参加ができない中、県内参加者だけでのイベントを行うこともできた。

○ 年初にあげられた課題・重点取り組みの進捗状況

① 地元主導体制へのロードマップ作り(継続課題)

→ 新態勢での1年目だったが、オンラインの幹事会などでコミュニケーションをとりながら、臨機応変に対応できた。今年度も引き続き、運営体制を強化していきたい。

② 参加者層の拡大(継続課題)

→ 新型コロナの影響により活動が制約されたが、新規会員が5名加わり、県内からの参加者も多くなり、いい傾向になってきた。(「各月の活動記録」参照)

③ 刈茅数の確保(継続課題)

→ 地元の茅刈り衆は、雲越さんと渡辺さんの2名になってしまったが、2名で2460束の茅を刈って頂いた。その他、ボランティアにより550束をあわせて、3435束の茅を供給することができた。

④ フィールドの価値を高めること(エコパーク、ふるさと文化財の森などの動きに呼应)

→ ゆるぶの森のマップを制作した。自然保護協会との連携により塩よるニホンジカの誘引実験をおこない、捕獲はできなかったものの一定の効果を確認することが出来た。高崎のTAGOスタジオが開発しているヘッドフォンの材料として上の原のイタヤカエデを供給するなど新しい用途を開拓した。

各月の活動記録

～ 新型コロナの影響で、活動内容が大幅に制約される。
・ 総会は、書面ベースで実施。 毎月の幹事会もZOOMを使っでのオンラインで実施。
・ 麗澤学園関連行事 (春の樹木観察会、秋のフィールドワーク)は中止
・ 以下の活動は中止： 野焼き(4月)、ゆるぶの森整備・植生調査(5月)、日光土呂部茅場連携作業(6月)、流域連携活動菅生沼・小貝川の野焼き(1月)
・ 以下の活動は、参加者を限定して実施： 防火帯刈払い・植物調査(会員限定 7月)、ミズナラ林・ゆるぶの森整備(会員限定 9月)、雪原トレッキング(非常事態宣言対象地域民＝群馬県民限定 3月)、川場村茅葺屋根づくり視察楽習会(会員限定 9月)
・ これら補完措置として、「在宅講座」を8回に分け作成、メール、WEBホームページで配信。

2020年

4月 ・ 第17回定期総会実施。感染症対策のため書面決議で実施。塾長が草野から北山に交代、新たに下流域部会を発足させ草野事務局長が部会長を兼務、2名が新たに幹事に就任し、新執行部が発足。

・ 初めての試みとして幹事会をWEBで実施。(以後継続実施)

- ・ 25日、26日に予定されていた野焼きは中止。
- ・ 「在宅講座」実施。感染症対策で活動が制約される中、「学習会」や「車座講座」に代わるものとして会員にテキストを配信。第1回目は「サクラはどこから来たのか」(作成:草野)。
- 5月
 - ・ 第2回在宅講座テキスト「冬芽には希望が詰まっている」(作成:草野)配信。
 - ・ 第3回在宅講座テキスト「上ノ原の最新の写真」配信(提供:夏目)。
- 6月
 - ・ 第4回在宅講座テキスト「上ノ原の動物たち」(作成:北山)配信。
 - ・ 「茅風通信60号」発行
 - ・ 第5回在宅講座「ゆるぶの森で「こころ」と「からだ」を癒す—With コロナ時代の森のチカラの活用—」配信。
 - ・ 「日光カヤボッチの会」の飯村代表と共に上ノ原にて特定希少植物の植生調査
 - ・ 第6回在宅講座「上ノ原のニホンジカの脅威」(作成:草野)配信。
- 7月
 - ・ 新旧塾長がみなかみ町役場に町長らを訪問。鹿害対策や、フィールドの植生保全について打ち合わせ。
 - ・ 今年1回目のプログラム「防火帯刈払い・植物調査」を、感染症対策のため会員限定で人数を絞り実施。
 - ・ 車座講座では自然保護協会2名、群馬県1名に宿に合流いただき、「鹿害」についてのレクチャーを受ける。
 - ・ 現地駐在会員を中心に、フィールド内にライブカメラを設置。WEBホームページで常時みられるようになる。
 - ・ 第7回在宅講座として、群馬県林業試験場などの「ヤマビル対策」を配信。
- 8月
 - ・ 第8回在宅講座「クマの生態と被害防止対策」発行。秋田県の対策などを配信。
- 9月
 - ・ 今年2回目のプログラム「ミズナラ林・ゆるぶの森整備」を、感染症対策のため会員限定で人数を絞り実施。
 - ・ 5日 群馬県森林インストラクター講座受講者が上ノ原で研修会実施。
 - ・ 第1回学習会(流域連携)「川場村茅葺き屋根づくり視察参加」を、感染症対策のため会員限定で人数を絞り実施。
- 10月
 - ・ 流域連携活動として、日本茅葺き文化協会主催の「茅葺き体験研修・茅葺き講座 2020」(於:茨城県石岡市)に参加。
 - ・ 定例プログラム「茅刈り」実施。二日目に6名が応募して5回目の茅刈検定を実施。1時間にわたり作業し17項目をチェック、全員が茅刈士補心得に認定。茅刈りの実績は二日間で85ポッチ。
- 11月
 - ・ 茅刈りイベント終了後、7名が現地に残り、古民家に合宿して茅刈り継続。
 - ・ 首都圏会員2名が現地泊まり込みで炭焼き実施。
 - ・ 定例プログラム「茅出し・山の口終い」実施。合計3435束(687ポッチ)搬出。
- 12月
 - ・ 流域連携活動として、日本茅葺き文化協会主催の茅刈り講座(於:茨城県つくば市)に参加。
- 2021年
 - 1月
 - ・ 全国草原再生ネットワーク・ニュースレター2021年1月号に草野事務局長が“「茅採取技術」の継承・担い手育成を「茅刈り検定」で”を投稿。
 - 3月
 - ・ 13日、14日「雪中トレッキング&自然観察」実施。当初19名の申し込みがあったが、非常事態宣言延長のため、急遽、対象地域の参加者に自粛要請、県内参加者7名+世話係1名、および現地でガイドの塾長で催行。
 - ・ 29日、塾長、事務局長が利根沼田森林管理署を訪問し、次長と面談、塾長交代の挨拶を兼ねて今後の塾の運営方針を説明、2021野焼きイベント等に協力を依頼。

(参考データ)

一般参加歓迎プログラム参加人数(会員以外の地元協力者は含まず)

	①野焼き・山之口開き	②新緑イベント(遊歩道整備など)	連携活動(日光訪問など)	③盛夏(防火帯整備など)	④初秋(ミズナラ林整備など)	周辺地域・地元行事参加	⑤茅刈	⑥茅ホッチ搬出	⑦冬(地域協力・雪原散策など)	合計
参加者	中止	中止	中止	18	17	中止	34	18	9	96
前年	48	12	中止	12	14	中止	26	13	中止	125
前々年	43	14	6	13	9	12	24	9	12	142

茅刈実績(単位:束)

実施年度	2020	2019	2018	2017	2016	2015	2014	2013	
刈り取った茅	3435	3775	3430	2300	4490	5550	3555	3010	29545
うちボランティア	975	775	860	480	625	490	400	260	4865
(うち合宿)	(550)	(375)	(420)	(50)					
うち地元	2460	3000	2570	1820	3865	5060	3135	2750	24660
*環境保全作業協力金支払	98,400	105,000	92,520	99,500	40,000	126,500	100,960	137,500	

* 茅の買い取り価格(町田工業)に当塾が上乘せるもの。

第2号議案 2021年度事業計画案

1. 2021年度事業計画(案)

- ・都市、地元、利根川流域の住民が**飲水思源の志**でつながり、楽しみながら汗を流す。
- ・**人と自然のほどよい関係で**、生き物たちでにぎわう上ノ原の「入会の森(茅場・ミズナラ林)」を保全・利用する仕組みを築く。

■基本方針

上ノ原「入会の森」の茅草原、ミズナラ林を保全しながら、自然の恵みを持続的に利用する仕組み構築し、地域のタカラとして次世代につなげる。

■2021年度の重点取り組み

- ・茅刈衆の確保と人材育成をおこない、安定的に茅を供給できる仕組みを構築する。
- ・ユネスコエコパーク、ふるさと文化財の森指定、ユネスコ無形文化遺産、SDGs未来都市の理念に沿って、都市住民、地元住民、行政との協力体制を再構築する。
- ・茅場の希少種の保全を継続するとともに増殖を試験的に行う。

	ベースの活動	今年度の新規または重点項目
茅場	野焼き 茅刈り・運びだし 茅買上げによる茅活用のしくみ定着化	侵入樹木の除伐、希少植物の保全と繁殖 効率的な茅刈り センサーカメラによる生き物調査(赤谷プロジェクトとの連携) ニホンジカの調査捕獲
ミズナラ林	二次林の若返り伐採と森林アメニティの利用促進 自伐型林業の推進	抜き切りの推進、ゆるぶの森の活用 ミズナラの原木マイタケ栽培 炭焼きなど森林資源の活用
次世代への橋渡し	環境資源の発掘、掌握、アピール 藤原小中学校との協働 環境教育のお手伝い	重要里地里山500、モニタリング2000、昆虫等保護条例指定地、SDGsを意識した活動 希少植物の栽培 麗澤中ほか
活動基盤	担い手の拡充 流域諸団体との連携	茅刈新規参入者の促進、地域おこし協力隊、自伐型林業の研修参加者への働きかけ 大学など教育機関との連携、働きかけ(前年から継続)

2. 2021年度年間行事予定(案)

※ 感染症対策で、事業の大幅変更の可能性あり。

実施日	実施事項 ①～⑧は定例活動 (場所は特記ない限り藤原)	実施内容
4月17日	総会 (於、東京都中央区)	セミナー(楽習会)
5月1日～2日	①野焼き 山の口開け(予備日:5月3日)	事前の防火帯整備、野焼、山の口開き儀式
未定	麗澤中学校樹木観察会(於、千葉県柏市)	校庭の樹木を題材にオリ根水源の森林FWIにむけた自然観察の意識づけ
6月12日～13日	②遊歩道整備と生物モニタリング調査	遊歩道整備、シカ被害対策、希少種等生育状況の調査、生態調査
6月27日(予定)	武尊山山開き	
7月17日～18日	③防火帯刈り払い、草原・歩道整備	防火帯刈り払い、歩道整備
8月1日	武尊神社例大祭	
8月8日	下流部会活動・日光茅ポッチの会交流(日光茅ポッチの会イベント参加)	茅ポッチの会イベント参加
8月20日	藤原区民祭り	
8月21日(予定)	藤原湖マラソン前夜祭、花火大会	
8月22日(予定)	藤原湖マラソン	
9月4日～5日	④群馬県民優先プログラム:里山でリトリート(ゆるぶの森&諏訪神社)	
9月5日(予定)	諏訪神社例大祭	中区主催
10月2日～3日	⑤ミズナラ林整備	伐採、搬出、薪割り、キノコの駒打ち
10月30日～31日	⑥茅刈	茅刈・茅刈検定
10月30日～11月7日	茅刈リウィーク	地元茅刈衆、首都圏勢による合宿 環境保全作業協力金支払い
	麗澤中学フィールドワーク	茅刈、森林散策、クラフト等
11月20日～21日	⑦茅出し・山の口終い	茅搬出、山の口終い行事、キノコの駒打ち、炭焼き
1月(未定)	流域活動:小貝川、菅生沼の野焼(於、茨城県常総市)	小貝川、菅生沼での野焼き参加
3月12日～13日	⑧キャンドルナイト&雪原トレッキング	かまくら設営、ポタ作り、雪原散策・冬芽観察、茅スグリ、メープルシロップづくり
通年 or 未定 (メニューの中で実施)	茅、希少種の生育状況モニタリング	モニタリング・記録、生き物写真コンクール検討
	首都圏部会中心に楽習会を2-3回実施。	臨時楽習会などを通じて専門家などからのレクチャー
	藤原小中学校との協働	希少種の栽培
	NPOオリ根地域ネット側面支援	自伐型林業、古民家整備・利用促進、藤原学再興など
	全国草原サミット・シンポジウムin東伊豆(9月26日予定)	
	流域の環境保全活動の団体との交流、日光茅ポッチの会	ポッチづくり支援(6月又は9月詳細未定)
	自伐林業との相互交流	機会があれば、会員が自伐林業イベントに参加
	地域貢献活動	明川さくらの里の草刈など
車座講座の実施	定例活動の交流会で実施して参加者へ付加価値付与	
連携団体への上ノ原来訪・利用呼びかけ		
摘要	1. 野焼きは、除雪をしないで行う。野焼き事前準備、防火帯整備。 2. 茅刈り新規参入者対策:自伐型林業の研修参加者にアナウンス。	

項目		2020年度 計画	2020年度 実績	うち助成金 充当	うち自己負 担	2021年度 計画	うち助成金 充当	うち自己負 担
収 入	前年度繰越金	2,000,462	2,000,462			2,219,138		
	会費・入会金	373,000	361,000			358,000		
	会費(正会員・家族会員)	297,000	282,000			292,000		
	賛助会員会費	70,000	70,000			60,000		
	新規会員入会金	6,000	9,000			6,000		
	事業収入	455,000	211,940			455,000		
	定例プログラム等参加費	385,000	186,440			385,000		
	茅・物品等売上	60,000	25,500			60,000		
	講演料・原稿料	10,000	0			10,000		
	受託事業収入	420,000	0			420,000		
麗澤樹木観察会受託	300,000	0			300,000			
麗澤FW受託	120,000	0			120,000			
助成金・寄付金	1,470,000	1,099,631			1,190,000			
みなかみ町昆虫等保護	30,000	30,000			30,000			
財団等民間	1,440,000	1,009,631			1,160,000			
寄付金	0	60,000			0			
その他収入	0	21			0			
受取利息	0	21			0			
その他	0	0			0			
(単年度収入)		2,718,000	1,672,592			2,423,000		
合計		4,718,462	3,673,054			4,642,138		
支 出	事業経費	2,145,306	1,301,413	995,571	305,842	1,610,000	1,160,000	450,000
	備品購入費	548,856	592,592	432,592	160,000	240,000	219,926	20,074
	動植物飼育栽培関連費	0	0	0	0	50,000	46,203	3,797
	消耗品費	26,960	24,578	24,578	0	25,000	19,825	5,175
	懇親会費用	200,000	83,042	0	83,042	200,000	0	200,000
	車両等賃借費	376,480	274,091	274,091	0	280,000	268,950	11,050
	旅費交通費	287,630	63,918	63,918	0	215,000	151,940	63,060
	宿泊費	74,300	11,000	11,000	0	85,000	62,800	22,200
	人件費・謝金	81,000	20,000	20,000	0	65,000	40,426	24,574
	人件費・環境保全作業協力金	100,000	98,400	98,400	0	90,000	90,000	0
	環境保全協力地域通貨費	50,000	17,800	0	17,800	30,000	0	30,000
	会費・交際費	150,000	45,000	0	45,000	70,000	0	70,000
	保険料	84,930	60,280	60,280	0	85,000	84,930	70
	調査研究費	5,000	1,032	1,032	0	0	0	0
	広告宣伝費	7,150	9,680	9,680	0	7,000	7,000	0
	資料・チラシ等郵送費	3,000	0	0	0	3,000	3,000	0
	業務委託費	150,000	0	0	0	165,000	165,000	0
	受託事業経費	379,000	0	0	0	379,000	0	0
	資材消耗品費他	25,000	0	0	0	25,000	0	0
	車両等賃借費	25,000	0	0	0	25,000	0	0
	旅費交通費	78,000	0	0	0	78,000	0	0
	人件費・謝金	231,000	0	0	0	231,000	0	0
	業務委託費	20,000	0	0	0	20,000	0	0
	事務所経費その他	190,000	152,503	14,060	138,443	203,000	0	203,000
	設備備品費	50,000	0	0	0	50,000	0	60,000
	消耗品費他	15,000	24,365	0	24,365	15,000	0	5,000
	印刷費	30,000	21,914	0	21,914	30,000	0	30,000
郵便料・通信費	30,000	31,286	14,060	17,226	30,000	0	30,000	
サーバー等ITインフラ費	26,000	26,120	0	26,120	26,000	0	26,000	
会議室等利用費	27,000	36,200	0	36,200	40,000	0	40,000	
振込・払込手数料	12,000	12,618	0	12,618	12,000	0	12,000	
その他	0	0	0	0	0	0	0	
(単年度支出)		2,714,306	1,453,916	1,009,631	444,285	2,192,000	1,160,000	653,000
次年度繰越(残高)		2,004,156	2,219,138			2,450,138		
合計		4,718,462	3,673,054			4,642,138		

※ 感染症対策で事業の大幅変更が予想される。受託事業は、相手先の対応未定のため、前年予算と同額計上。

※ 2021年3月末会員数(カッコ内前年)：正会員62(60) 家族会員7(7) 協賛会員6社(6)

入会：朱宮文晴 夏目啓一郎 渡邊茂雄 井上昌樹 柳沼 翔子 退会：高野史郎 古高利男 林 和美

第3号議案 2020年度役員選任

1. 役員候補 (あいうえお順)

稲 貴夫	岡田伊佐子	尾島キヨ子	北山郁人	草野 洋	夏目啓一郎
西村大志	藤岡和子	増井太樹	松澤英喜	吉野一幸	

2. 役職変更(案)

変更なし

3. 新任役員

該当なし

4. 2021年度執行体制(案)

塾長	北山郁人	全般統轄 みなかみ事務所長(地元・みなかみ町役場ならびに支援企業との連携、資材等管理)
事務局長	草野 洋	全般にわたる企画・管理 全般統轄補佐 下流域部会統轄
幹事	稲 貴夫	広報(「茅風」編集長)、東京楽習会、総会/セミナー
	岡田伊佐子	麗澤中補佐「樹木観察会/FW」・自然ふれあい学習、東京楽習会補佐、総会/セミナー補佐
	尾島キヨ子	麗澤中補佐「樹木観察会/FW」 下流圏プログラム補佐 茅刈り合宿
	夏目啓一郎	地元の活動参画促進、NPOオリ根ネットワーク、地域貢献プログラムほか
	西村大志	WEB管理(H/P・プログメンテなど) 助成事業 広域連携補佐(草原再生ネット、草原サミット)、麗澤中(統轄、窓口)
	藤岡和子	児童青少年の教育プログラムの企画実行 コモンズプログラム企画開発 茅刈り合宿補佐
	増井太樹	広域連携(草原再生ネットワーク)
	松澤英喜	事務局長補佐(予算管理、会員管理、総会、幹事会ほか) 助成事業補佐 WEB管理補佐 会計・出納
	吉野一幸	地元代表
	稲貴夫(兼務)	会計監査

顧問

安楽勝彦	笹岡達男	滑志田隆	清水英毅
------	------	------	------

* 原顧問は退任

オブザーバー/相談役

高橋英俊	行政/みなかみ町役場窓口(環境政策室)
林 親男	地元関係相談役(藤原案内人クラブ)
川端英雄	アドバイザー

(注)みなかみ町役場からのオブザーバーは、人事異動などある場合は、その後任にお願いいたします。